

2次実力養成編 2015年12月～2016年4月

2016年5月～7月

2次直前編 2016年8月～9月

**TACメソッド解説講義  
[2回]**

事例問題を解くためのスキルのベースとなる「TACメソッド」を伝授します。  
事例問題に共通するメソッドのほか、各事例に対応するためのメソッドなどを習得します。

**2次スキルアップ演習  
[4回(各事例1回)]**

これまで学習してきた、TACメソッドと各事例の知識を「知識の確認(10分)→演習(60分)→解説(70分)」という演習形式の流れで体得します。

**2次実力養成演習  
[4回(各事例1回)]**

これまで学習してきたことを、本試験と同様の80分の事例演習で確認していきます。  
演習後、60分の解説講義を行い、答えは添削して返却します。

**2次実力チェック模試  
[1日]**

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。これまでの対策の成果を確認します。そして、課題を整理し、8月から2次直前期に備えます。

※2016年5月1日を予定しています。  
2016年合格目標2次本科生をお申込みの方は、2次実力チェック模試の受験料がコース受講料に含まれております。



「1次直前期」は1次対策に集中できるよう、2次対策の講義・演習をあえてカリキュラムに含めていません。  
1次対策に余裕があり、さらに2次対策を充実したい方は、「2次実力完成演習」や「2次事例Ⅳ特訓」等の有料オプション講座(P.14)をご検討ください。

**80分****こだわりの80分演習&模試**

本試験と同様の80分間の演習・模試を実施します。  
「2次実力養成演習」以外は、本試験に合わせた難易度に設定しています。

**2次直前演習  
①～④  
[4回(各事例1回)]**

これまでに培ってきたスキルを発揮して、本試験レベルの実践的な事例演習(80分)にチャレンジします。演習後、60分の解説講義を行い、答えは添削して返却します。

**80分****2次公開模試  
[1日]**

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。全国最大級の受験者数を誇り、ご自身の実力や位置を正確に測ることができます。

※2016年9月4日を予定しています。2016年合格目標2次本科生をお申込みの方は、2次公開模試の受験料がコース受講料に含まれております。

**80分****2次直前演習  
⑤～⑫  
[8回(各事例2回)]**

本試験直前の最後の追い込みとして、80分の実践的な事例演習を行います。演習後、60分の解説講義を行い、答えは添削して返却します。

**80分****2次試験対策にさらに磨きをかける!****★2次対策講義****[10回(事例Ⅰ～Ⅲ各2回、事例Ⅳ4回)]**

徹底した過去問分析に基づき、各事例に必要な基本知識のインプットを行います。しかし、単なるインプットだけではなくそれらの知識をどのように事例に適用させるかの観点から紐解いていきます。  
特に知識色が強く、苦手にする受験者が多い「事例Ⅳ」対策を充実させています。

**2次事例Ⅳ特訓****[6回] (※自己採点)**

本コースの目的は、典型的な問題を繰り返し処理することで、基本的な計算処理手順の定着を図ることです。さらに、類似した複数の問題を処理することで、共通的な要素を抽出し、問題対応力を強化します。各回、講義(30分)→演習(60分)→解答解説(50分)の順で実施します。

**★2次実力完成演習 [12回(各事例3回)] & 2次実践スキル確認講義 [2回]**

「2次実力完成演習」では、事例Ⅰ～Ⅳの事例演習を本試験と同様の80分で解答する実戦形式で3回転、計12回行います。もちろん、答えは添削して返却します。豊富な演習量とバリエーションに富んだ出題内容を通じて、これまで学習してきた、TACメソッド、過去問、2次試験に必要な知識をマスターし、事例スキルを完成させます。

「2次実践スキル確認講義」では、2次実力完成演習12回の体験をより効果的なものにするため、事例問題の処理プロセスの確認・補強を行います。

さらに2次試験対策を充実させたい方にオプション講座をご用意しました。必要に応じてご利用ください。各オプション講座の受講料・開講月等の詳細は、P14にご覧いただけます。

**受験者数全国最大級の模試**

TACの公開模試は受験者数全国最大級。そのレベル・規模・フォローなどの全てにおいて自信を持ってお勧めできます。  
多くの受験者に支持され、2014年度のTAC 2次公開模試受験者は、2,769人にもなりました。

